CARVIN

LEGACY

LEGACY Series

VL2100 HEAD/VL2212 COMBO

取扱説明書

株式会社 サウンドハウス
〒286-0825　千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
http://www.soundhouse.co.jp　shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度はCARVIN スティーヴ・ヴァイ・シグネチャーアンプVL2100/VL2212 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

ご使用になる前に取扱説明書をお読み下さい。

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。
   異常がある場合は販売店にご相談ください。
2. 感電防止の為、使用中は内部部品に触れないでください。
3. 各装置の設置を完了させるまでは電源を入れないでください。
4. ヒューズを交換する場合、必ず先に電源プラグを抜いてください。
5. 40℃を超える環境で本体を使用することはお止めください。
6. 本製品は屋内使用専用です。屋外では使えません。
   また、雨天や湿気の多い場所での使用はお止めください。火災や感電の原因となります。
7. 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用してください。
8. 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意ください。
9. 電源ケーブルが踏まれたり、挟まれたりしないよう注意してください。
10. メーカーによって供給された付属パーツ以外は使用しないでください。
11. 本体は通気性の良い所に設置し、周囲に可燃物や爆発物を置かないようご注意くだい。
    また、使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
12. 本体の掃除をする際は乾いた布のみを使用してください。
13. AC100V-120V、50/60Hzにてご使用ください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店にご連絡ください。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

特徴

「Legacy IIは夢のようなアンプだよ。シンプルかつ柔軟な使い勝手に、滑らかでウォームなサウンド。サチュレーションやトーンを変えずに、スピーカーから出てくる全体のサウンドのボリュームをコントロールできるマスターボリュームを持つアンプに仕上がった。オリジナルのLegacyが持つ完璧なサウンドはそのままで、クリーンチャンネルをブースト出来るチャンネルもついているし、もうこれ以上のアンプを望む事はないね」
ースティーヴ・ヴァイー

LEGACY II シリーズのサウンドとルックスは、スティーヴ・ヴァイ氏とCARVIN エンジニアリングチームが密に打ち合わせを重ねた結果生まれたものです。ヴァイ氏はLEGACY II のいくつかの部品を変更し、更に洗練されたトーンにする為、カスタムアンプビルダーのベンジャミン・ファージェン氏を招聘しました。ヴァイ氏自ら、様々な真空管、電気回路のリスニングテストを行い、数多くのプロトタイプを経て完成したモデルです。ヴァイ氏が選択したEL34 真空管とCELESTION Vintage 30 スピーカーによって仕上げられたLEGACY IIは、まさにオリジナルのアンプとなっています。

ークリーン/ブースト/リードの　3チャンネル仕様ー

クリーンチャンネル、ブーストチャンネル及びリードチャンネルのイコライジングセクションは、輪郭のはっきりしたギターサウンドが得られるデザインとなっています。また、クリーンチャンネルのプレゼンス･スイッチをON にし、10kHz辺りの超高音域にあたるハーモニクスを強調する事によって、よりアコースティックな響きを加えることができます。ブーストチャンネルはクリーンサウンドに温かみとハーモニクスを加え、きめ細かなサウンドを生み出します。一方、リードチャンネルのプレゼンス･コントロールはギターサウンドのエッジを際立たせたい時に使用します。そのダイナミックレンジにより、スムースなサウンドから、切れ味のあるリードサウンドまで、思いのままにコントロールする事が出来ます。

ーEL34 パワー管によるダイナミックなサウンドー

その滑らかな歪み、レスポンスの良いサウンド、信頼性から、VL100/VL212 のパワー管にはEL34 が採用されています。高出力なパワー管のコンプレッション特性はリードギターのダイナミックレンジに反応します。細やかなタッチにも敏感に反応するので、柔らかなピッキングをした際はクリーンなサウンドになり、逆にアタックを強調したピッキングには、その通りに反応したパンチのあるサウンドを得ることが出来ます。

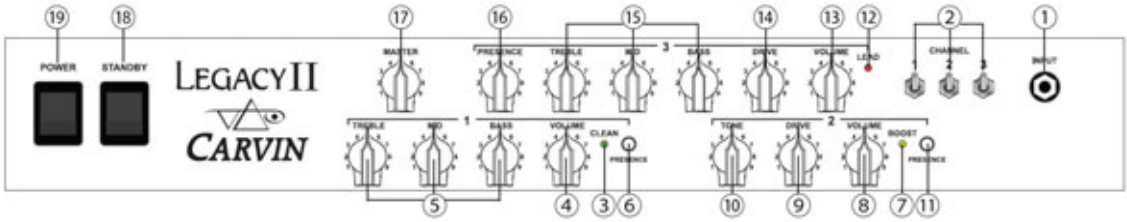
ー多彩なトーンコントロールー

BASS、MID、TREBLE トーンコントロールにより、幅広いトーン調整が可能です。色々な調整を行ってベストなサウンドが得られる設定を探してみてください。個々のつまみは極端に設定しても、音質そのものが影響を受ける事はありません。また、個々のつまみは独立したコントロールとなっており、相互に作用する事はありません。この幅広いトーンコントロールを可能にしたのが密閉型の1M ポットです（多くのギターアンプは250k ポットを使用しています）。BASS の周波数は80Hz、MID は650Hz に設定されています。TREBLE は11kHz と特に高く設定されており、通常のアンプよりダイナミックな高域が特徴です。

クイックスタート

電源を入れる前に、正しい電源、電圧のコンセントに接続しているか確認してください。ボリューム、ドライブのつまみを一旦全て0 にし、各トーンつまみをセンターの位置に合わせます。VL100の場合は、スピーカーキャビネットとスピーカーケーブルが別途必要となります。リアパネルのインピーダンススイッチが正しく設定されている事をご確認下さい。別売りのフットスイッチ、FS33L を使用する際はリアパネルのフットスイッチ端子に接続してください。フットスイッチを使ってチャンネル、リバーブの切り替えを行う際は、チャンネルセレクトスイッチをチャンネル1（ボタンが押されていない状態）に設定します。ここまでの設定が終わったら、電源スイッチを入れ、真空管が温まるまで2-3 分待った後、スタンバイスイッチを入れてください。徐々にボリュームを上げ、トーンつまみを調整します。

フロントパネル



1. 入力端子

ギターを接続する標準フォン入力端子です。

2. チャンネルセレクトスイッチ

チャンネル切替スイッチです。選択されたチャンネルのボリュームの隣にあるLED が点灯し、どちらのチャンネルが選択されているかを表示します。チャンネル1を選択するとクリーンな音、チャンネル2を選択するとウォームなクリーントーンが得られ、また、強く弾けば歪んだサウンドになります。チャンネル3を選択するとサステインのあるオーバードライブサウンドを得られます。別売りのフットスイッチやMIDIコントロールでもチャンネルの変更を行う事が出来ます。

クリーンチャンネル（チャンネル1）

チャンネル1は、ヘッドルームにゆとりのある、明るいクリーンサウンドを得られます。500-700Hzの周波数帯を整える‘マッドカッティング回路’は、ギターのサウンドを余すところなく引き出し力強いトーンを生み出します。

3. チャンネルLED

クリーンチャンネルが選択されている際に緑色に点灯します。

4. ボリューム

クリーンチャンネル1の音量のコントロールに使用しますが、チャンネル2のブーストのボリュームにも作用します。煌びやかで透明感のあるクリーントーンが特徴です。出力される音量はマスターボリューム(17)にも影響を受けます。

5. ベース/ミッド/トレブル

各周波数帯域の量を調整するつまみです。最初は各つまみをセンター(5)の位置に合わせ、好みのサウンドが得られるように調整してください。シングルコイル･ピックアップ使用時や、サウンドがブライト過ぎる時はプレゼンス･スイッチをオフにしてください。このコントロールはチャンネル2にも作用します。

6. プレゼンス

このプレゼンス･スイッチは8 から10kHz というギターの最も高いハーモニクスのレンジの量を調整する事で、よりクリアでブライトなトーンが得ることが出来ます。このコントロールはチャンネル2にも作用します。

ブーストチャンネル(チャンネル2)

ヴァイ氏が‘モア・ヘア’と評したように、ブーストチャンネルはクリーンチャンネルのサウンドを二段目のチューブ回路に通すことで温かみや柔らかさを加え、さらに歪ませることも可能です。クリーンチャンネル1の設定はブーストチャンネルに全て作用し、ブーストチャンネルの設定は二段目のチューブ回路をコントロールします。

7. チャンネルLED

ブーストチャンネルが選択されている際に黄色く点灯します。

8. ボリューム

クリーンチャンネルのボリュームの設定に基づき、ブーストチャンネルの音量コントロールに使用します。出力される音量はドライブ(9)やマスターボリューム(17)にも影響を受けます。

9. ドライブ

ドライブを上げると温かみが増し、サウンドに豊かなハーモニクスと、柔らかなニュアンスを与えます。

10. トーンコントロール

高音と低音のバランス調整に使用します。設定を高くすると明るいトーンになり、下げると暗いトーンになります。

11. プレゼンス

このプレゼンススイッチはドライブコントロールを上げた際に失われがちな音の明るさを補い、滑らかできらびやかなトーンを加えます。

リードチャンネル（チャンネル3)

12. チャンネルLED

リードチャンネルが選択されている際、赤く点灯します。

13. ボリューム

リードチャンネルの音量コントロールに使用します。出力される音量はマスターボリューム(17)にも影響を受けます。

14. ドライブ

歪みの量を調整するつまみです。マイルドな歪みを得るには、このつまみを1 から2 のあたり、真空管の最適なサチュレーションサウンドを得るには3 から6 のあたりに、フルに歪ませるには8 から10 のあたりで調整します。ドライブのセッティングを8 以上にすると、ご使用のギターのピックアップによっては歪み過ぎの状態になります。出力の高いピックアップはオーバーサチュレーションを起こし、ディストーション・サウンドが濁ったような音になることがあります。そのような時はギター本体のボリュームを10 にして、演奏しながらドライブつまみを下げることできらびやかな高域が戻るよう調整してください。
また ‘LEGACY II の隠された機能’については、12ページを御参照下さい

15. ベース/ミッド/トレブル

各周波数帯域の量を調整するつまみです。最初はセンター(5)の位置に合わせてから、好みのトーンになるようにつまみを調節します。高域に関しては16のプレゼンスも合わせて調整してください。

16. プレゼンス

チャンネル3 はよりクリアーな音を作れるようにプレゼンスつまみを備えています。その周波数帯はトーン・スペクトラムの中心に位置し、トレブルつまみとともにに高周波の帯域を細かく調整することでより繊細な音作りが可能です。

マスターセクション

17. マスター

アンプ全体のボリュームを調整します。他のアンプとは異なりこのマスターコントロールはエフェクトループの前段でセンドのボリュームに作用し、リターンには影響しません。それにより一つのノブで複数のアンプのボリューム調整が行えるようになっています。

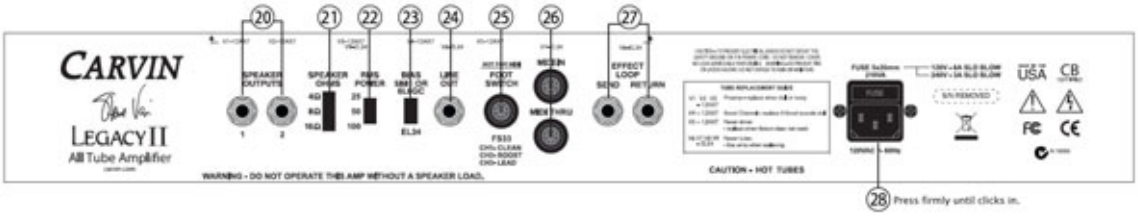
18. スタンバイスイッチ

演奏を一時止める時はスタンバイスイッチをオフにしてください。

19. 電源スイッチ

メイン電源をオン/オフするスイッチです。電源がオンの時はスイッチが赤く点灯します。

リアパネル



20.　スピーカー出力端子

スピーカーキャビネットを接続する端子です。2 台のスピーカーキャビネットを同時に接続する事が可能です。この端子はパラレルで結線されています。パラレルで接続される事を想定した上でスピーカーの合計インピーダンスを計算し、インピーダンス・スイッチを適正に設定してください。

21. インピーダンススイッチ

接続するスピーカーのシステムに合わせて、インピーダンスを4Ω、8Ω、16Ωの中から選択します。C-412 キャビネットを1 台使用する際は16Ωを、2 台接続する際は8Ωを選択します。LEGACY　II VL212 コンボ・アンプは8 Ωですが、他にC212Eなどの8 Ωのキャビネットをつなげる際にはスイッチを4 Ωに設定してください。

22.　RMSパワースイッチ

4本全ての出力管を使用している場合、3段階のRMSパワースイッチで100Wのアンプ出力を50W又は25Wまで下げることが出来ます。設定を低く行うと、低い音量レベルでも高音質な真空管のオーバードライブサウンドを得る事が出来ます。最大出力のパワーとヘッドルームを得るにはスイッチを100Wに設定して下さい。小さいボリュームでパワー管をドライブさせたいときはスイッチを50、又は25Wに設定して下さい。ボリュームの減少は各々3dBと6dBですので大幅なボリュームチェンジにはなりません。

23.　パワー管バイアススイッチ

パワー管をEL34 から5881(6L6GC)に変更したいとき、リアパネルにあるこのスイッチで外部バイアスを切り替えます。このスイッチが正しく設定されていないと熱が発生し、真空管を痛めることがありますのでご注意下さい。内部のバイアストリムコントロールの調整に関しては販売店にご相談下さい。バイアスを設定するには、まず、スタンバイスイッチの端子間の電流を測定します。（スタンバイスイッチをオフにしてください）アイドル電流はどの真空管のタイプでも100mA に設定してください。

24.　ボイスドラインアウト出力

ラインアウト用の標準フォン端子です。キャビネットの鳴りをシミュレートした信号をミキサーやレコーダーに送ることが出来ます。

25.　FS33L　フットスイッチ接続端子

接続は別売りのFS33Lフットスイッチをご利用下さい。FS33Lで1-3のチャンネルの遠隔操作が行えます。LEDインジケーターでチャンネル確認が出来ます。その他製品のご利用は故障の原因になりますのでお控え下さい。

26.　MIDI IN/MIDI THRU

5ピンMIDIケーブルで標準的なMIDIコントローラーをMIDI IN接続端子に接続して下さい。その他のMIDI機器を同時にご使用の際はMIDI THRU端子に接続してください。

27.　エフェクトループ端子

エフェクターを接続するSEND/RETURN 端子です。ギターとアンプの間に接続するよりもノイズを軽減する事が出来ます。SEND 端子からの信号をエフェクターの入力端子に、エフェクターの出力端子からの信号をRETURN 端子にそれぞれ接続します。その際はスピーカーケーブルではなくシールドケーブルをご使用ください。エフェクターによっては数dB音量が下がることがありますが、アンプの側のゲインで十分に補うことが可能です。
また、他のアンプとは異なり、このマスターコントロールはエフェクトループの前段でセンドのボリュームに作用し、リターンには影響しません。それにより一つのノブで複数のアンプのボリューム調整が行えるようになっています。

28.　電源ケーブルソケット/ヒューズ

電源ケーブルを差し込むソケットです。表示の電圧、ヒューズの値が正しいことを確認の上、電源ケーブルをしっかりと差し込んでください。

MIDIプログラム

Legacy IIはチャンネル1 から3 までにMIDIプログラムパッチ情報を割り当てて保存することができ、MIDIパッチ・チェンジ情報を受け取ると設定を呼び出します。音量、ドライブ、トーン設定は保存されません。

MIDIプログラムパッチの保存方法

1) 保存をするチャンネル（1-3）を選択しそのチャンネルセレクトスイッチを押し続けてください。
2) 次にその他2つのセレクトスイッチも押し、3つ同時に離して下さい。保存先に選択したチャンネルのLEDが点滅します。
3) MIDIコントローラーから保存先のMIDIパッチ番号を選択して送信してください。LEDが一度点滅し保存されたことを知らせます。その後そのまま通常通りご使用いただけます。

MIDIレシーブチャンネルの変更

1) フロントパネルの3つ全てのチャンネルセレクトスイッチを同時に押し、離して下さい。その内の1つのアンプチャンネルLEDが点滅します。
2) チャンネルセレクトスイッチの1-3 を押してMIDIチャンネルの1-3を選択して下さい。LEDが一度点滅し変更されたことを知らせます。その後そのまま通常通りご使用いただけます。

ヘルプセクション

LEGACY II の隠された機能

LEGACY IIアンプの『隠された』機能の一つは、スティーヴ・ヴァイ本人からのリクエストによるものです。リードチャンネルでドライブを十分な量（およそ6 の位置）まで上げていても、ギター本体のボリュームを下げると、リードチャンネルにも関わらずクリーンなサウンドを得ることが出来ます。チャンネルを切り替えなくてもリズム、リードどちらの演奏にも対応する事が出来、非常に便利です。また、このアンプはピッキングのニュアンスに敏感に反応します。熟練したギタリストは、ピッキングの強弱のつけ方によって感情を表現すると言われていますが、LEGACY II はこのピッキングの強弱に敏感に反応するよう設計されています。

リードチャンネルのフィードバック

LEADチャンネルのドライブ、トレブル、プレゼンスをフルにあげるとフィードバックを起こします。他のチューブアンプと同様、これは正常な現象です。フィードバックやノイズを抑えるには、ドライブを5-7 程度に抑えてください。

トラブルシューティング

1) アンプの電源が入らない。

まずアンプへの電源を確認します。ブレーカーが切れていないか、延長コードが抜けていないか、電源タップのスイッチが切れていないか確認してください。次にヒューズを確認します。ヒューズが変色していたり、ガラス内に線が見えない状態であれば交換してください。アンプに問題がなくても高電圧のサージにより、ヒューズがとぶ事があります。また、ヒューズを交換してもすぐにとんでしまう場合には販売店にご相談ください。

2) 電源ランプは点灯するが、音が出ない。

真空管が破損していないかご確認ください。

3) アンプのクリーニングについて

湿らせた布で、フロント/リアパネルおよびビニールカバーの汚れをふき取ってください。

製品仕様

VL2100/VL2212

定格電源	25/ 50/ 100W
出力インピーダンス	4/8/16Ω
入力インピーダンス	220,000 Ω
トーンコントロール ベース	80Hz
(両チャンネル) ミッド	600-700Hz
トレブル	11kHz
チャンネル数	3チャンネル切り替え式 (フロントパネル、FS33Lフットスイッチ、MIDI)
MIDI機能	チャンネル切り替え、100パッチローケーション、 5ピンMIDI IN/THRU
感度	チャンネル1　最大出力30mV チャンネル2　15mV チャンネル3　15mV(クリッピング)
ライン出力	1.5 VAC @ 定格100W
プリアンプ管	12AX7 x 5 本
パワーアンプ管	EL34 x 4 本
キャビネット材	マルチプライ・ハードウッド
寸法、重量	**VL100**：61.5W x 26.6H x 24D cm、16.5kg **VL212**：76.2W x 71.1H x 35.5D cm、35.8kg
スピーカー	Celestion Vintage 30 x 2
生産国	アメリカ
オプション品:	FS33 LEDフットスイッチ CV3200カバー(ヘッド) CV3212　カバー(コンボ) C412T2/C412B2適合10.1x30.4 Vintage 30キャビネット

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より１年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。

CARVIN